

ESG投資における取組みについて ～EEI5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合への出資参加～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、株式会社環境エネルギー投資（代表取締役 河村 修一郎）が運営するEEI5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合のセカンドクローズにおいて、新たに出資参加しましたのでお知らせいたします。

EEI5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合は、脱炭素を中心とする社会課題解決に貢献し、社会的インパクトを創出することを目的に、持続可能な社会の実現に貢献する革新的なビジネスモデルや技術を有するスタートアップに対して投資するファンドです。

当行では、「秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針」において、環境課題への対応を重要課題のひとつとして掲げ、環境価値「Green Values」の創出を推進しております。引き続き事業活動を通じて地域の脱炭素化に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

1 EEI5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合の概要

ファンド名称	EEI5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合
運用金額	218億円（二次募集時点）
存続期間	2022年9月15日～2032年12月31日の約10年間 （+最長2年間の延長）
主な投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ○ 脱炭素を中心に持続可能な社会の実現に貢献するビジネスモデルや技術を有するスタートアップ ○ 2050年のカーボンニュートラルに向けて、抜本的なイノベーションに資するビジネスモデル・技術を有するスタートアップ ○ 組合が設定する3つの投資領域 <ul style="list-style-type: none"> ① Energy Transition 主に脱炭素社会の実現へ向けて飛躍が期待される次世代エネルギービジネスに投資を行う。再生可能エネルギーや蓄電ソリューション、省エネ、最適制御、カーボンオフセット分野等を対象とする。 ② Mobility&Transportation モビリティの電動化・充電分野に加えて、人の移動や物流のDX化や効率化に資するサービス・技術等を対象とする。 ③ Smart Society 主に「グリーン化」「スマート化」「ニューノーマル」へのソリューションを提供し、先鋭化する社会課題の解決に資する企業を投資対象とする。

2 ESG 投融資への取組み

当行は、環境課題や社会課題の解決ならびに持続可能な社会の実現に資する ESG 投融資を積極的に行っております。

<これまでの取組み>

2021 年 8 月～環境負荷低減に資する船舶投資ファンドへの出資

2021 年 1 2 月～カーボンニュートラルファンド 1 号投資事業有限責任組合への出資

2022 年 3 月～MSD 第二号投資事業有限責任組合への出資

2022 年 7 月～脱炭素先行地域事業に関する株式会社オーリスへの出資

2022 年 1 0 月～株式会社脱炭素化支援機構（J I C N）への設立に向けた出資

2023 年 6 月～脱炭素先行地域事業に対する株式会社オーリスへの事業性融資

2023 年 6 月～本出資

(以 上)



SDG s (Sustainable Development Goals)

2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。